

## 平成 28 年度 “超” を目指す軸受技術研究会報告

“超” を目指す軸受技術研究会（第 3 種，主査 平山朋子）：本研究会は，軸受技術の基礎研究や応用・開発に携わっている者，気軽になんとか参加してみたい者が集っていろいろな意味での“超”を議論し，情報を交換する場として運営されている．本年度は，委員数 35 名，平均出席者数は 25 名程度で，同志社大学を開催場所とし，3 回の研究会を開催した．研究会での講演タイトルは以下のとおりである．

第 49 回研究会（平成 28 年 6 月 4 日 於：同志社大学）① 工作機械における流体軸受の進展（ジェイテクト 杉山和久），② 軸方向スロット絞りを有する静圧気体軸受の開発（兵庫県立大 中塚将也，豊橋技科大 伊勢智彦，兵庫県立大 浅見敏彦，スターライト工業 西村一彦，絹川智哉），③ グリース潤滑の油膜形成に及ぼす増ちょう剤の効果（同志社大 小宮広志，八百谷昇，平山朋子，松岡 敬）．

第 50 回記念講演会（平成 28 年 10 月 8 日 於：同志社大学）  
記念講演① 回転機械用油膜すべり軸受の設計（トライボロジーとロータダイナミクスの融合）（東大 田中正人），② ウェブハンドリングとトライボロジー（東海大 橋本 巨）．

第 51 回研究会（平成 28 年 12 月 17 日 於：同志社大学）① 移動テクスチャ表面の流体潤滑解析（九大 八木和行），② 飽和水潤滑軸受における剛体軸ウィップの分岐解析（東大 庄山直芳），③ EHL 点接触下での油膜厚さに及ぼす球表面へのサブミクロンステップ形成の影響（同志社大 新野寛人，平山朋子），④ フォイル軸受関係動向調査（豊橋技科大 伊勢智彦），⑤ 多孔質絞り静圧気体軸受のメカニカルシールへの適用（タンケンシールセーコウ 藤平清隆），⑥ ステアリン酸マグネシウム添加油によるフレッチング摩耗低減メカニズム（日本精工 前田成志，外尾道太，丸山泰右），⑦ 水素気泡法を用いた移動物体まわりの流れの可視化と制御（舞鶴高専 金井峻輔，京都製作所 菅沼友樹，舞鶴高専 野間正泰），⑧ ある混合機器内での流体の流動のおはなし（元京都大・大阪電気通信大 矢部 寛），⑨ 特許明細書の役割（ぱるも特許事務所 谷豊 文），⑩ 身近な物体まわりの流れの可視化とCOC 出前授業への適用—簡易風洞装置の設計・製作—（舞鶴高専 迫田光太郎，尾松来基，長岡技科大 細見久起，舞鶴高専 大谷周平，野間正泰），⑪ 身近な物体まわりの流れの可視化とCOC 出前授業への適用—舞鶴市立三笠小学校での実践—（舞鶴高専 尾松来基，迫田光太郎，長岡技科大 細見久起，舞鶴高専 大谷周平，野間正泰）．

研究会終了後には，話題提供者を囲んで簡単な懇親会を設けること

が慣例となっており, 毎度, ざくばらんな意見交換がなされている.  
次年度も軸受技術に関わる話題を基とし, 年 3~4 回の研究会の開催を  
予定している.

URL: <http://www.maizuru-ct.ac.jp/control/noma/trib/tribology.html>